

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年12月06日

計画の名称	三佐北地区における安心・安全のまちづくり【第3期】											
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○
交付対象	大分市											
計画の目標	<p>大分市三佐北地区は準工業地域であるにもかかわらず、老朽化した住宅が密集し道路も入り組んでいることから、緊急時の安全性を確保することが急務である。</p> <p>当三佐北地区では、平成12年に地元協議会が設立され行政と地元が協同で事業への取り組みを行ってきた。本計画では行政、地元が一体となり道路整備を行うことによって消防活動困難区域の解消、接着率向上による老朽化の減少を目標に、地域の防災性及び住環境の向上を図り、併せて避難場所（三佐小学校）までの避難時における子ども達の安全性の向上を図る。また、道路整備により影響の出る三佐大村児童公園について一時避難地としての機能維持のための公園整備を行う。</p>											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,364	A	649	B	715	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	三佐北地区における消防活動困難区域の解消を目指す 事業計画をもとに消防活動困難区域をR6年度には全て解消する。 (消防活動困難区域率) = (消防活動困難区域-道路整備による解消区域) / (消防活動困難区域(29ha)) (%)	19%	9%	0%
2	三佐北地区における道路整備率を47%までの向上を目指す 事業計画をもとに道路整備率をR6年度に46%まで整備する。 (道路整備率) = (道路整備延長) / (区域内未整備道路全体延長(12,919m)) (%)	26%	35%	46%
3	道路整備を行うことにより接道住宅率を62%までの増加を目指す 事業計画をもとに接道住宅率をR1年度の36%をR6年度には62%まで向上する。 (接道住宅率) = (既接道住宅棟数(191棟)+道路整備完了後、接道が可能となった住宅棟数) / (区域内全住宅棟数(524棟)) (%)	41%	52%	62%
4	子どもの災害避難時における安全性の向上を図るため歩道整備率の向上を目指す 事業計画をもとに歩道整備率をR6年度に100%まで整備する。 (歩道整備率) = (歩道整備延長) / (区域内未整備歩道全体延長(2,506m)) (%)	51%	96%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	大分市	直接	大分市	-	-	都市防災総合推進事業(三佐北地区)	現道拡幅 L=1.6km	大分市						649	-	
											小計						649		
											合計						649		

B 関連社会資本整備事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												R02	R03	R04	R05	R06					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
市街地整備事業	B13-001	都市防災	一般	大分市	直接	大分市	-	-	（都）由原浜新地線（戎堂、遠見地区）	現道拡幅 L=1.1km、S街路、改築	大分市						715		-		
		補助幹線道路を整備することにより避難活動、消防活動等の円滑化を図る																			
													小計						715		
											合計							715			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	127	86	30	67	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	127	86	30	67	
前年度からの繰越額 (d)	0	60	62	10	
支払済額 (e)	67	84	82	62	
翌年度繰越額 (f)	60	62	10	15	
うち未契約繰越額(g)	15	54	1	5	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	11.81	36.98	1.08	6.49	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	地権者との協議に時間を要したため	地権者との協議に時間を要したため			

事前評価チェックシート

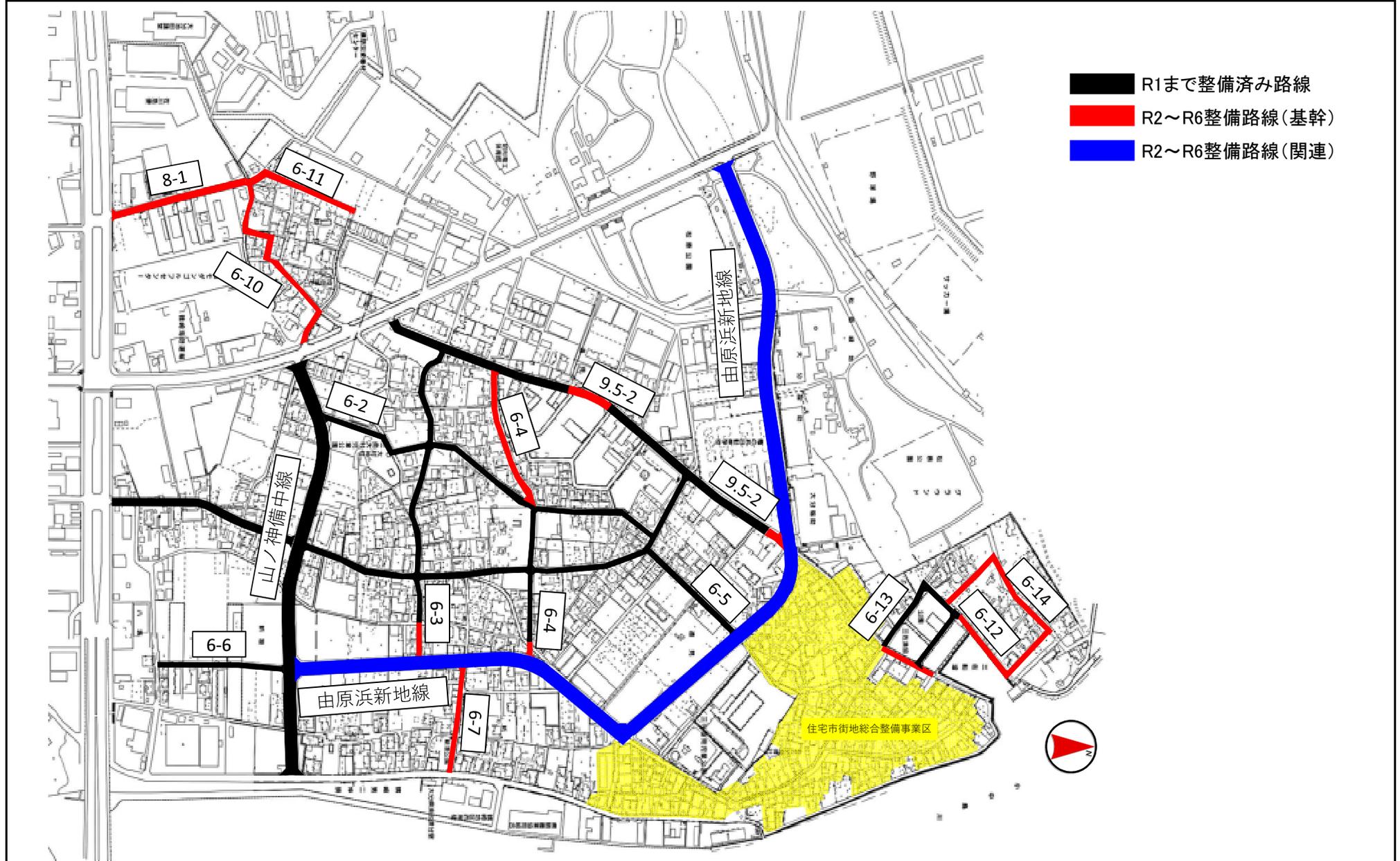
計画の名称： 三佐北地区における安心・安全のまちづくり【第3期】

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との適合等 1) 防災の目標が都市計画マスタープラン等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題(防災上の危険性)を踏まえて整備の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) 大分市市街地災害危険度判定の分析から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 事業推進に向けた地域の機運が醸成されている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 2) 継続的な事業の展開が見込める。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

(参考図面) 市街地整備

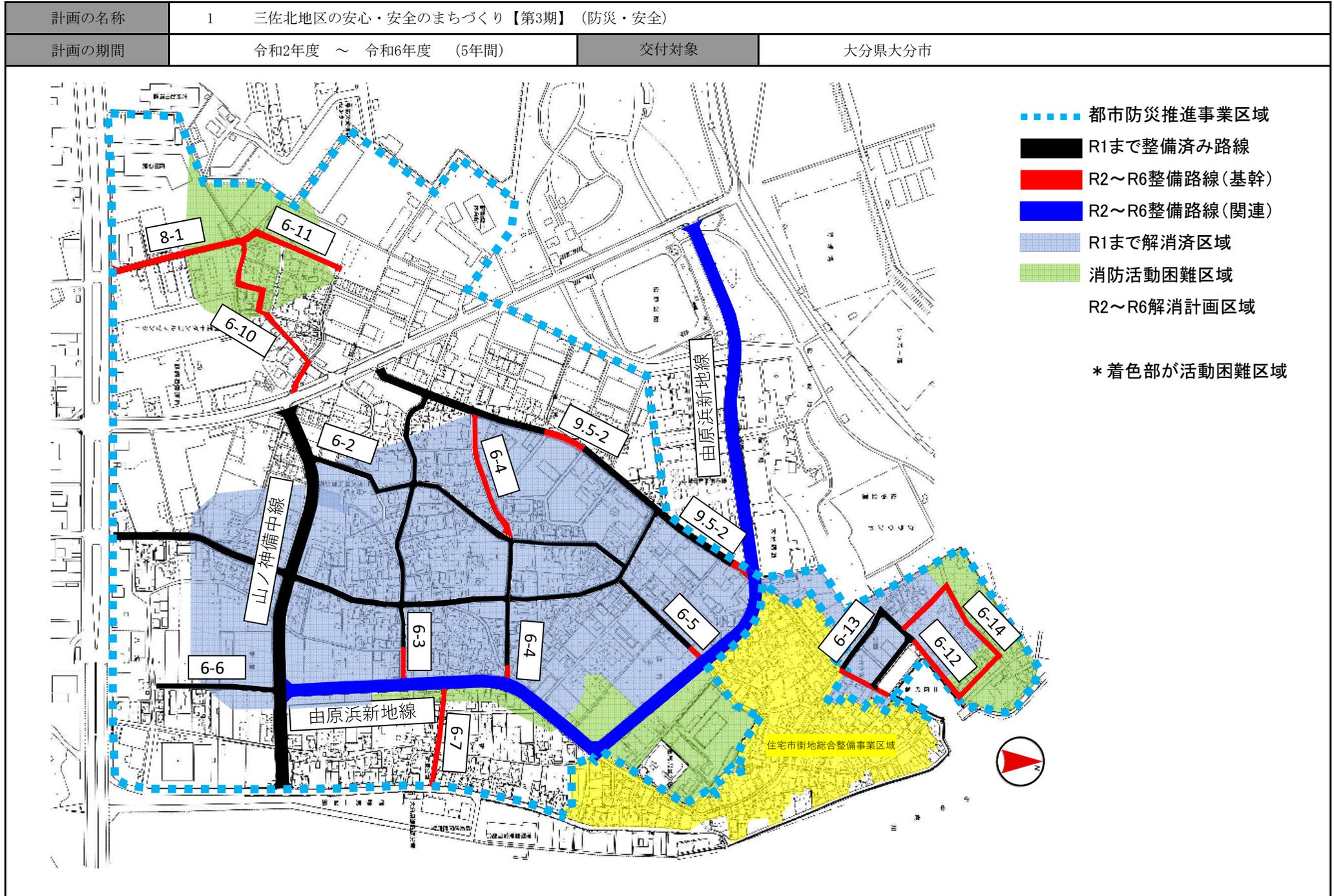
変更後

計画の名称	1 三佐北地区の安心・安全のまちづくり【第3期】(防災・安全)		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)	交付対象	大分県大分市



(参考図面) 市街地整備 (消防活動区域)

変更後



(参考図面) 市街地整備 (接道図)

変更後

計画の名称	1 三佐北地区の安心・安全のまちづくり【第3期】(防災・安全)		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)	交付対象	大分県大分市

